

変更事項が多いため、
JAわかやまホームページ
「地域本部からのお知らせ」に
掲載しております。
下記の二次元コードから
確認してください。



令和8年(2026年) 果樹防除暦 変更事項について



「つたえるねっと」
で農作業情報を
随時配信!

橋本資材センター

……TEL.0736-33-2300

かつらぎ資材センター

……TEL.0736-22-7822

2月の農作業

※表内の網掛け()の農薬を購入する場合や、毒劇物農薬を購入の場合は必ず印鑑を持参してください。印鑑のない方には販売することができません。

落葉果樹

安定生産を目指した園地づくり
を行いましょう

寒い日が続きますが、体調には十分気を付けて作業を行ってください。今月の作業としては、剪定や土づくりが中心となります。また、忙しくなる時期に備え、園内道や防護柵の修復箇所がないかの確認や農機具の点検等も行ってください。

●柿剪定の仕上げ

2月に入ると剪定も終盤を迎える頃です。枝が混み合っている箇所や切り忘れがないか、もう一度見直しましょう。

●土づくり

良い土壌とは、保水性・排水性・通気性が優れており、根に適度な水と酸素を供給できるため、作物の生育や果実の安定した生産に役立つものです。近年は降雨や乾燥が連続するなど気象が不安定な状況が続いており、毎年、土壌改良資材の投入や中耕を行い、良い土づくりに努めましょう。また、水はけの悪い園地につきましては、排水対策を行います。



◎10aあたりの施肥例

完熟堆肥	1～2t
アヅミン	40kg
セルカまたは苦土石灰・消石灰	100～200kg
スーパーマグ	60kg
BMヨウリン	60kg

※園地の適正管理のため、定期的に土壌分析を実施しましょう。



●柿の接ぎ木用穂木の採取

接ぎ木に用いる穂木の採取は、2月中に行いましょう。落葉してから芽が動くまでであればいつでも採取出来ませんが、実際は貯蔵期間が短いほうが穂木の状態が良いといわれています。

穂木は充実した枝が適しており、活着率や伸長がよくなります。昨年結実した弱い結果母枝、間延びした徒長枝、夏枝などは避けるようにしましょう。

また、接ぎ木を行う際、穂木が乾燥しているとは活着率が悪くなってしまうので、採取した穂木は、10～20本を一束にして乾いた新聞紙で包み、ビニール袋に入れ、保冷庫や冷蔵庫(野菜室が望ましい)等で保存しておくようにしてください。

●ウメの受粉対策

ウメは一般的に自分の花粉では受精しない自家不和合性の品種が多く、結実の有無は

気象条件や花粉を運ぶミツバチの活動が重要になります。ウメの受粉対策についての情報を左記にまとめていますので、参考にしてください。

○巣箱を設置する際の注意点について

・10a当たり2箱を目安に設置してください。
・設置場所は温度が2度で、湿度が高すぎないところが最適です。
・入口は出来るだけ北風を受けず、日の射す方向(南か南東)へ向けましょう。
・雨水が入らないように入口をやや低くしてください。

・一度設置したら移動させないでください。向きを変えるのも厳禁です。

・ミツバチは蜜を集めた重い体を抱えて高い所まで飛びと多くのエネルギーを消費することを知っており、巣箱の帰りがより楽な場所を選んで蜜を集める傾向にあります。そのため、よほどのことが無い限り、巣箱より下の方へは飛んでくれないので、園地が傾斜地の場合は傾斜の下方に巣箱を設置してください。

・巣箱設置中の農薬散布は絶対にしないようにしてください。

○ウメの花の受精について

・花の受精能力は晴天続きの天候で最長7～9日程度続きます。ただし、降雨に合うとそれよりはるかに短くなります。
・条件の悪い園地では箱数を増やし、短時間でも効率よく交配出来るようにしてください。

・設置前の巣箱の重量と返却日の巣箱の重

品目	防除時期	適用病害虫	防除法		使用時期 (収穫前日数)	使用回数	
桃	2月下旬～ 3月上旬	越冬病害虫	石灰硫黄合剤	10倍	発芽前	規制なし	
		縮葉病					
		カイガラムシ類	ネオエステリン(展着剤)	5,000倍	規制なし	規制なし	
風のない日を選び、展着剤を加用し、かケムラのないよう丁寧に散布してください。 なお、石灰硫黄合剤を散布しない園では、縮葉病対策として、トレノックスフロアブル 500倍(7日前迄/5回以内)を散布してください。							

品目	防除時期	適用病害虫	防除法		使用時期 (収穫前日数)	使用回数
すもも	2月中旬	ふくろみ病	トレノックスフロアブル	500倍	14日前迄	3回以内
			アピオン-E(展着剤)	1,000倍	規制なし	規制なし
			風のない日を選び、展着剤を加用し、かケムラのないよう丁寧に散布してください。			

●病害虫防除

近年、温暖化の影響で桃・すももの越冬病害虫は増加傾向にあります。薬剤散布は風のない日を選び、かケムラの無いように散布しましょう。

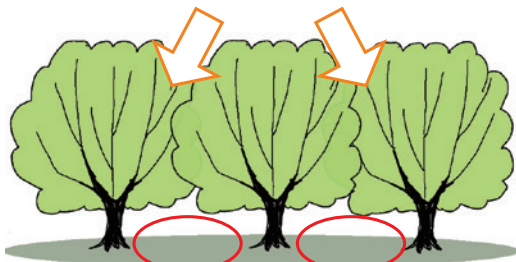
なお、柿のカイガラムシ類・カキノヘタムシガ・コスカシバ等の被害が多い園では、粗皮削りを実施してください。

量を計測すると交配度合いの目安になります。

密植園

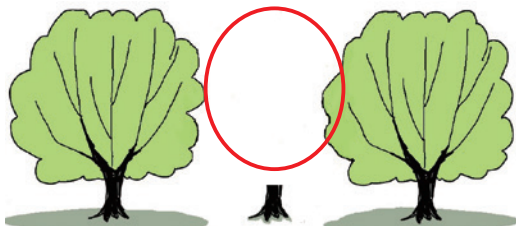
(間伐前)

隣に樹があり、横枝の伸長が妨げられている

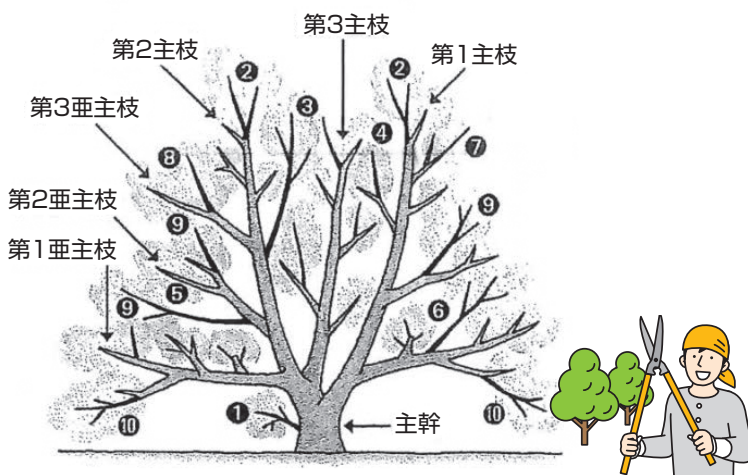


樹が混んでいて日陰になっている

(間伐後)



間伐することで樹の内部・下部まで光があたり、横枝が増える



※①～⑩ が切るべき枝の優先順位。
黒く塗った枝が剪定の対象となる枝

- ①主幹から出た主枝以外の枝
- ②主枝先端の立ち枝
- ③強い内向枝
- ④弱い内向枝
- ⑤第1垂主枝の上に重なる枝
- ⑥垂主枝から立ち上がった強い枝
- ⑦第2、第3垂主枝に重なる上部の間のびした枝
- ⑧垂主枝と同年生枝
- ⑨垂主枝から立ち上がる枝
- ⑩下垂したり間のびした側枝

●間伐・縮伐の実施

樹と樹の間隔が狭くなり、枝先が交差し始めた園地では間伐・縮伐を行います。間伐は、日照・風通しの改善を行い、病害の軽減、作業性の向上、薬剤のかケムラ防止など、高品質な果実を生産するための重要な作業です。園地全体を観察し、永久樹(残す樹)と伐採する樹を決めて、思い切った間伐・縮伐を実施しましょう。

樹の間伐・縮伐と剪定を行います

柑橘

●剪定作業

2月以降の農作業は、主に剪定作業となります。果実品質を大きく左右する重要な作業のため必ず実施してください。柑橘の剪定は、表年予想の樹(果実がよく実る樹)と、裏年予想の樹(果実があまり実らない樹)で剪定期や方法が異なります。樹の状態を確認してから剪定を行います。

①樹高の切り下げ

樹高の高い樹では、摘果や収穫などの作業効率化を図るために主枝を切り下げましょう。一度に強い切り下げを行うと徒長枝が多発してしまつことや、樹勢低下を招くことがあるため、2～3年かけて側枝のある部分で切り下げを行い、徐々に樹高を下げてください。

②整枝・剪定

表年予想樹では、花芽を抑制するために、切り返し剪定を中心に行います。初めに骨格を整える整枝から行い、樹形を乱す強い内向枝や重なり枝、主枝先端の立ち枝、垂主枝から立ち上がる強い枝などを剪除していきます。全体の剪定量は、剪定開始前の約20～25%に留め、強剪定にならないよう注意してください。剪定の優先順位は左記の図を参考にしてください。

裏年予想樹では、着花量を確保するため、花芽が確認できるようにしてから、間引き剪定を中心に行ってください。

また、枯れ枝は黒点病の伝染源になるため必ず剪除してください。

紀北地域の最新ニュース!



NEWS&TOPICS

11/19
WED

金剛峯寺に「天野米」奉納

御用達米「天野米」90kgを高野山総本山金剛峯寺に奉納しました。

金剛峯寺持仏前大広間で奉納式が行われ、紀北地域本部の小倉本部長が目録を読み上げ、金剛峯寺の後藤財務部長に手渡しました。

高野山の麓、標高約450mに位置するかつらぎ町天野地区では、十数軒の農家が「キヌヒカリ」を栽培。糖度やアミノ酸の含有率などの基準を満たした米が「天野米」として認定されます。もっちりした口当たりと甘味が特長で、冷めても美味しいと評判です。食味値75以上が「天野米」の基準で、今年は平均81。夏の猛暑の影響があったものの、生産者の努力と徹底した栽培管理のおかげで順調に生育しました。

11/19
WED「旅するさんち」ツアーで
地元柿農家と交流

園地や選果場を巡る「旅するさんち」ツアーを開き、柿の収穫体験や選果場見学を参加者21人が楽しみました。産地を訪ねて味わう食体験ツアーで、阪神梅田本店と阪急交通社が共同企画しています。九度山町柿農家の中谷裕一さんの園地で、美味しい柿の見分け方や収穫方法について説明を聞き、参加者は収穫用カゴを肩に掛け、柿を収穫しました。マルい選果場では、亀井憲一販売委員長から柿の出荷の流れについて説明を聞き、出荷の様子を見学しました。

11/20
THU年金友の会
グラウンドゴルフ決勝大会

年金友の会グラウンドゴルフ大会を神野々緑地芝生広場で開催し、各支部予選を勝ち抜いた111人が日頃の練習成果を発揮しました。参加者は個人戦で24ホール回り、他支部の会員と親睦を図りながら、和気あいあいとプレーを楽しみました。優勝は中野登美子さん(橋本東支部)、準優勝は西谷茂さん(橋本東支部)、3位は竹本康子さん(橋本支部)となりました。おめでとうございます!



11/27
THU11/28
FRI

新入職員が農作業研修

今年度新規採用職員6人が九度山町の園地で農業研修を受け、柿の収穫を体験しました。新入職員はほとんどが農業未経験者。最初は戸惑いながらも、柿の選別や収穫方法について営農指導課の職員から説明を受け、傷がつかないように丁寧に収穫しました。4月に摘蕾を体験し2度目の農作業研修となりました。

11/27
THU

女性大学 白浜日帰りバス旅行

女性大学で白浜周辺をウォーキングするバスツアーを開催し、11人の受講生が参加しました。臨海海水浴場からスタートし、番所山公園や白良浜を通過してクアハウス白浜を目指しました。到着後は健康講座を受け、椅子に座ってトレーニングを行いました。昼食は生姜の炊き込みご飯や石狩鍋風元気味噌仕立てなどの健康御膳。その後は、入浴や買い物などをそれぞれ楽しみました。受講者は「こんな機会がないとウォーキングしないから楽しかった」「温泉でリラックスできた」と話しました。

11/28
FRI

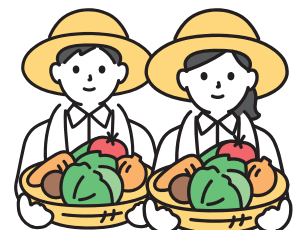
トレーニングファーム研修生卒業



令和6年12月より農業技術・経営の研修を受講していた楠本宣正さんが、トレーニングファーム年間研修コースを修了し、小倉本部長より修了証が手渡されました。

楠本さんは15人目の卒業生となります。

紀北地域本部では、地域の新たな担い手育成・支援のため、農業技術経営の研修制度として、新規就農希望者を対象に就農前一年研修を行っています。

12/5
FRI

漬物講習会

女性会本部活動として漬物講習会を開き、甘酒ドレッシングと大根漬けを作りました。講師には厚生産業株式会社の宮崎さんをお招きしました。甘酒ドレッシングは、甘酒・米油・らっきょ酢の3つの材料で手軽に作ることができます。大根漬けは、「たくあん漬けの素」と「らくらくしば漬けの素」を使って、重石や樽を使わずに簡単に仕上がります。当日は漬物の素の販売も行い、大変好評でした。定員を超える申込みがあったため、2回に分けて実施しました。



令和8年度 農業技術講習会

受講者募集!

○受講対象者：就農意欲があり基礎技術を習得したい方（対象外：趣味・家庭菜園）

○定員：各コース 15 名（希望者が定員を超えた場合は先着順）

○申込締切時期：令和8年2月27日（金）

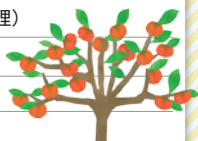
両コースの申込み可能

受講料
無料

果樹コース（予定）

時間 13:30~16:00

日程	内容
4月下旬	柿の摘蕾、病虫害防除、農作業安全、実習（摘蕾）
5月中旬	柿の環状はく皮、生理落果対策、実習（枝剥皮・枝管理）
6月下旬	柿の摘果、病虫害防除、実習（摘果・枝管理）
8月下旬	柿の収穫前管理、樹上脱渋、施肥、実習（樹上脱渋）
12月上旬	柿の剪定及び土づくり、休眠期防除、実習（剪定）



野菜コース（予定）

時間 13:30~16:00

日程	内容
4月下旬	夏野菜の栽培管理、農薬防除
8月上旬	秋冬野菜の栽培管理、実習（育苗の基礎）
10月中旬	マメ科野菜の栽培管理、軟弱野菜の栽培管理

お申込み
お問合せ

伊都振興局 農林水産振興部 農業水産振興課（橋本市市脇4丁目5-8）

☎0736-33-4930 FAX:0736-33-4919 Eメール:e1303911@pref.wakayama.lg.jp

◎受講希望者は、氏名・住所・電話番号・受講希望コースをお伝えください。

紀の里地域本部と和歌浦ウォーク!!

クアハウス白浜JAウォーク

日時 令和8年3月15日（日）

場所 紀北地域本部集合 午前9時00分出発

対象 組合員・組合員家族

申込期間：2月1日（日）～3月1日（日）

定員：24名（紀北地域・紀の里地域で各12名募集）

※先着順とさせていただきます。

参加費：2,500円 ※当日集金いたします。

集合時間：午前8時40分

開催場所：和歌浦周辺

※最小人数（15名）至らなかった際は中止とさせていただきます。

※中止の場合は申込時に頂いたご連絡先にお電話いたします。

楽しく健康に！
ウォーキングで
気分をリフレッシュ
しましょう♪

スケジュール

9:00	紀北地域本部 出発
10:25	片男波公園駐車場到着（トイレ・準備体操・諸注意）
10:45	ウォーキング 開始
12:15	片男波公園 到着 昼食（クアハウス白浜オリジナル弁当）
13:15	交流時間（レクリエーション）
14:00	片男波公園駐車場出発
15:15	紀北地域本部 解散

クアハウス白浜の
お弁当付き♪

お申込み・お問合わせ



クアハウス白浜

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町3102

TEL.0739-42-4175

かきたん のおでかけ日記

11月



串の左右に2個、中に6個で
「いつもニコニコ(2個2個)
仲むつ(中6つ)まじく、共に
白髪の生えるまで」という
願いが込められているんだよ!



串柿の里 四郷

日本一の串柿の産地であるかつらぎ町四郷地区(東谷・平・滝・広口)では、約400年の歴史を誇る串柿づくりが行われています。串柿は、柿の皮をむいて竹串に刺し、天日で干したものです。正月の縁起物として親しまれており、市場に出回る串柿の約9割を四郷地区で生産しています。串柿づくりには冷たく乾燥した風が必須条件で、晩秋から初冬にかけて、四郷地区は最も適した環境となります。家の軒先や長い柿屋(干場)に吊るされた串柿が一面を茜色に染め上げる光景は、晩秋の風物詩としても知られ、訪れる人々の目を楽しませてくれます。

四郷の伝統を守っていきたいです。



かつらぎ町東谷
すぎもと みのる
杉本 稔さん

法律相談会

2月20日(金)

場所：紀北地域本部3階

時間：午後1時30分～5時まで

JAでは弁護士による無料法律相談を組合員及びご家族の方を対象に毎月開催しています。相談時間は30分以内です。秘密は厳守いたしますので、安心してお申し込みください。なお、定員となり次第締め切らせていただきます。

☐お問合せ先／紀北地域本部総務生活課

☎0736-42-5172

☐組合への加入は最寄りの支店へご相談ください。

ローン相談会

2月1日(日)・8日(日)

2月15日(日)・22日(日)

☐場所／橋本支店 1階

☐時間／午前9時～午後4時まで

地域の方の住宅ローンなど各種ローンのご相談やお申込み受付を行っています。完全予約制となっていますので、ローンセンターまでお気軽にお問合せください。

☐お問合せ先／ローンセンター

☎0736-33-2922



第2回 地域運営委員会報告

JAわかやまでは、組合員の声をJA運営に反映させるため「地域運営委員会」を8地域本部に設置しています。

紀北地域本部では、第2回地域運営委員会を令和7年11月13日に開催し、19人の地域運営委員が参加しました。各部からの実績報告、キャンペーン・イベント等の案内を行い、その後、意見交換を行いました。意見交換では、他の地域本部との情報共有や鳥獣害問題について意見が出されました。地域運営委員会は、今年度内にあと2回の開催を予定しています。



取材先で



西部小学校の児童が橋本西部支店を見学しました♪



「大収穫祭IN九度山」で九度山支店が米のすくいどりを行いました!